

# 第64回高齢者排泄ケア講習会 (WEB開催)

日時：令和3年3月27日(土) 14:50～16:30

場所：ご自身のPCまたはスマートフォンでのご視聴になります

参加費：無料 Field※：A(排尿管理)/C(感染対策)

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他(スキンケア・オムツは  
ずし・認知症・介護・保険 他)  
詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

## テーマ：「排尿管理と感染対策」

開会の挨拶：山口秋人 先生 (特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長) 14:50～14:55

座長：山口秋人 先生 (原三信病院泌尿器科 顧問)

講演：『下部尿路機能障害の薬物療法について』 14:55～15:25

講師：武井実根雄 先生 (原三信病院泌尿器科 部長)

～ 講師からのコメント ～

高齢者の下部尿路機能障害は多くの場合蓄尿障害と排尿障害が混在しているが、通常用いられる薬物は蓄尿か排尿のどちらかに対してしか効果がないため、両者をバランス良く治療することが困難である。対象となる患者のADLや認知機能はもちろん、介護するスタッフや家族のQOLも踏まえて治療方針を決定する必要がある。よく用いられる薬剤について解説し、良い治療を選択するためのポイントについても言及する予定である。

講演：『ESBL産生菌と尿路感染症』 15:25～16:25

講師：宮崎博章 先生 (小倉記念病院 感染管理部 部長)

～ 講師からのコメント ～

基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ (Extended-spectrum β-lactamases: 以下ESBLs) は、ペニシリンや第3世代セフェムを分解し、ほとんどの経口βラクタム剤を無効にすることが可能となったβラクタマーゼに属する酵素である。ESBLs産生大腸菌は、第3世代セフェムに耐性があり、従来のほとんどの経口セフェムやペニシリンは効果が期待できない。ESBLs産生大腸菌は、2000年代から全世界的に拡散し、尿路感染症の起炎菌として、非常に問題となっている。院内感染だけでなく、市中の尿路感染症にも多く認められる。今回、ESBLs産生菌とは何か、なぜ再燃を繰り返すのかなど、多くの疑問に対して、臨床的かつ遺伝学的視点から解説を行い、今後の対応について考察を提示したい。

閉会の挨拶：今丸満美 先生 (特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長) 16:25～16:30

福岡高齢者排泄改善委員会  
ホームページ二次元コード

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、大鵬薬品工業株式会社

後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局 (月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休)  
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812

